



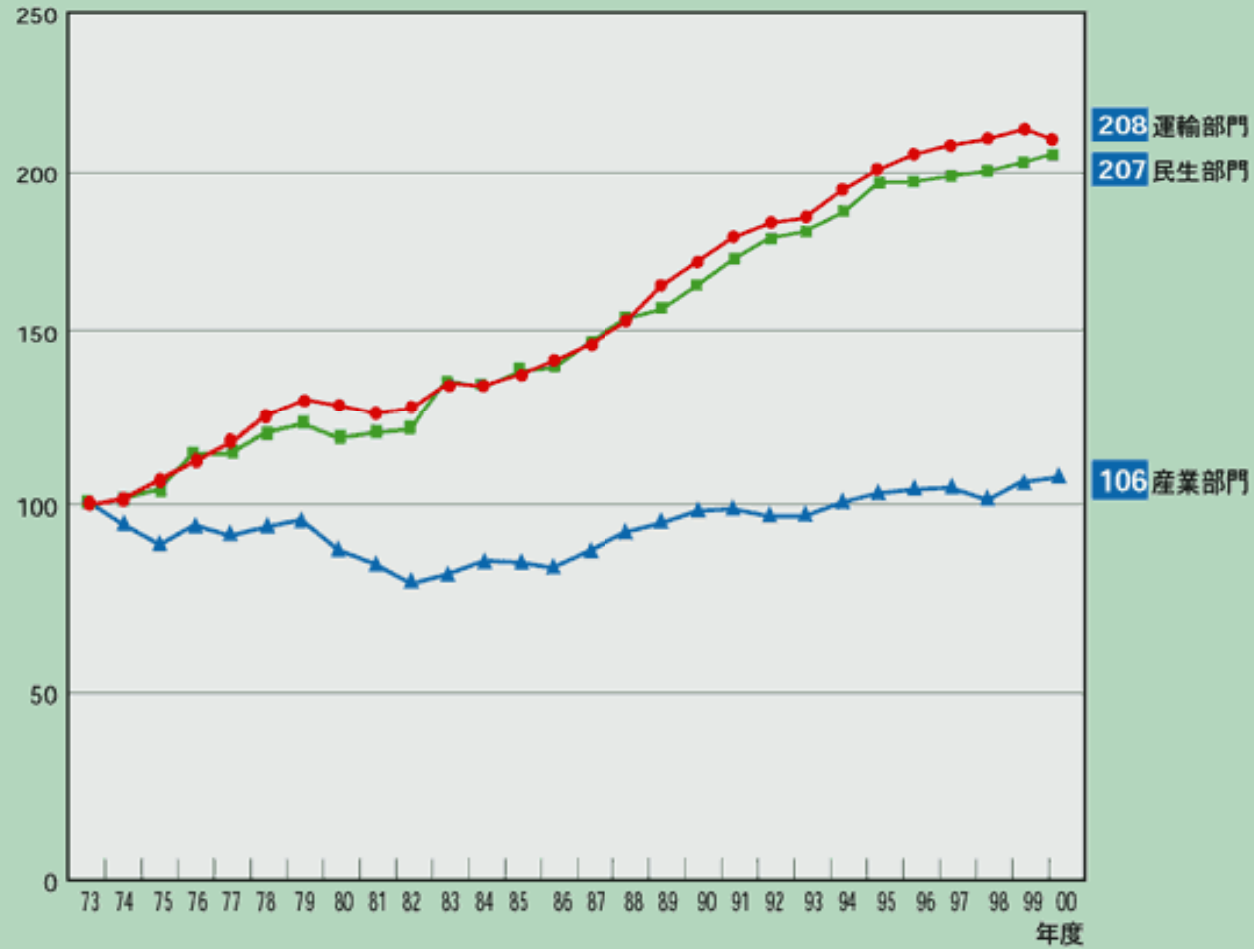
後付アイドリングストップ装置  
エコスタータの省エネ・環境効果

株式会社エコ・モーション  
〒104-0045東京都中央区築地7-4-4-1003  
電話：03-3524-0777 fax:03-3524-0798

# 部門別最終エネルギー消費の推移

日本におけるエネルギー消費料の約20%は運輸部門で、その殆どが自動車による消費です。

指数 (1973年=100)



出所：総合エネルギー統計

# 今すぐできる エネルギー削減・CO<sub>2</sub>削減対策

運輸部門で今すぐできる対策として  
「アイドリングストップ」  
が注目されています。



## アイドリングストップの省エネ効果とは？

## 省エネ効果

### 10・15モード走行では (平均速度23Km/h)

- 一般的に10・15モード走行による燃費数値が自動車の型録に掲載されていますが、10・15モードでは約20%が速度0 Km/h、つまり停車状態（アイドリング状態）としています。
- この20%の停車状態でエンジンを停止（アイドリングストップ）したとすると2.9%の燃料消費削減、8.0%のCO2排出削減効果があります。

(出典：自動車工業会資料に基づき計算)

# 省エネ効果

## 東京都モードNO.1では (平均時速4.6 km/h)

- 東京都NO.1モードとは都内実走行パターンを想定した走行モードで平均速度は、なんと4.6Km/hです。
- この走行モードでのアイドリングストップを換算すると・・・  
燃料消費量38.0～41.0%の削減  
CO2排出量38.0～42.0%の削減  
が可能となります。

ガソリン乗用車の場合

## 省エネ効果

### 東京都モードNO.2では (平均時速8.4 km/h)

- 先のモードよりもスムーズな道路状況で平均速度8.4Km/hを想定しています。
- この走行モードでのアイドリングストップは  
燃料消費量25%の削減  
CO2排出量24.0～25.0%の削減

即ち、都市部におけるアイドリングストップは

**最大25%の省エネ効果**

# 省エネ効果

## アイドリングストップによる省エネ (コスト削減) 効果

(都市部におけるアイドリングストップ実施データの最大値で計算、地域差や運転者による個人差、走行キロ数による燃費の差があります)

<u>路線バス</u> 4Km/l	<u>タクシー</u> 8Km/l	<u>集配トラック</u> 5Km/l
燃料消費量 8~18%削減 <small>(財団法人省エネルギーセンター 調査データより)</small>	燃料消費量 24%削減 <small>(財団法人省エネルギーセンター 実施データより)</small>	燃料消費量 34%削減 <small>(弊社取り付け運送会社、ヒアリン グデータより)</small>
1台につき 年間約112,500円 のコスト削減	1台につき 年間約300,000円 のコスト削減	1台につき 年間約290,000円 のコスト削減
年間走行キロ 50,000Km	年間走行キロ 100,000Km	年間走行キロ 50,000Km

# CO2削減効果

## 都市部に集中するCO2発生源

(アイドリングストップは温暖化防止と都市部の環境にも貢献します。)

都道府県	乗用車	トラック	バス	全国割合
(単位:千台)				
関東四都県	8,165	2,293	45	15.1%
京都・ 大阪・ 兵庫	4,574	1,830	21	9.1%
愛知・ 三重・ 静岡	6,208	2,036	23	11.8%

10都県 (約1/5) で、36%のCO2排出